



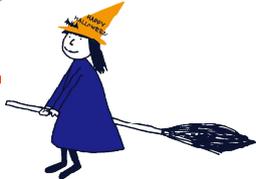
# としよかんだより 10月号



2023年9月28日  
天草中学校  
学校司書 浪崎直美

日中はまだ汗ばむ日が続いていますが、朝夕は随分涼しくなりましたね。日が暮れるのも早くなりました。その様子を表した「秋の日はつるべ落とし」ということわざがあります。「つるべ(釣瓶)」とは、井戸の水をくむ桶のことです。手を離すとすとーん!と勢いよく井戸へ落ちていく早さを、沈み始めるとあっという間に暗くなる秋の日暮れのようにと例えたものです。また、秋の空模様の変わりやすさを表した「秋の空と男心は七度(ななたび)変わる」ということわざがあります。「秋の空と女心は七度変わる」とも言うようです。同じ意味で「女心は猫の目」ということわざもありますが、それは「男心は猫の目」とは言わないそうです。なぜなのでしょう。おもしろいですね。

出典：「写真で読み解くことわざ大辞典」 倉島節尚/監修 あかね書房  
「ことわざ生活 あっち篇」 あかいわしゅうご 文 草思社



## 10/27~11/9 は読書週間です

終戦の2年後の1947(昭和22)年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られました。いまの10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)になったのは、第2回からです。

それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらおうきっかけとなることを願っています。

私のペースで しおりは進む

2023・第77回 読書週間  
10/27~11/9



【10月の移動図書館いるか号巡回日】 10月5日(木)

